

新品種候補 (2010年1月作成)

研究課題名：てんさい新品種候補系統「HT 30」の概要 (222511)

担当部署：北見農試・作物研究部・畑作園芸科、十勝農試・作物研究部・畑作園芸科、中央農試・作物研究部・畑作科、上川農試・研究部・畑作園芸科、北農研・寒地バイオマス、てん菜協会

キーワード：テンサイ、そう根病抵抗性、複合耐病性、低不純物価

1. 特性一覧表

系統名：「HT 30」 組合せ：HI0130xHI0427 × HI0380

特性：長所 1. 褐斑病、根腐病、黒根病に対する抵抗性が優れる。  
2. そう根病抵抗性が“強”である。  
3. 不純物価が低い。

短所 1. 抽苔耐性が“やや強”である。  
2. 糖量が「リッカ」より少ない。

普及見込面積：平成22年度 3,000ha 平成23年度以降 5,000ha

栽培条件	健全圃場				そう根病発病圃場	
	平成19～21年				平成20～21年	
調査年次	HT 30	モノホマレ (標準品種)	クローナ (対照品種)	リッカ (対照品種)	HT 30	リッカ (対照品種)
品種・系統名	HT 30	モノホマレ (標準品種)	クローナ (対照品種)	リッカ (対照品種)	HT 30	リッカ (対照品種)
倍数性	二倍体	二倍体	三倍体	二倍体		
葉姿	直立	直立	やや開平	やや直立		
葉長	中	長	中	やや長		
葉数	中	やや多	やや少	やや多		
葉形	皮針	皮針	楕円	やや皮針		
クラウンの大小	やや小	小	小	小		
根形	円錐	円錐	やや短円錐	円錐		
分岐根	少	少	少	少		
露肩	やや多	中	中	中		
根重(t/10a)	7.25(107)	6.80(100)	7.12(105)	7.77(114)	6.19(89)	6.96(100)
根中糖分(%)	17.41(102)	17.05(100)	17.66(104)	17.38(102)	18.19(100)	18.26(100)
糖量(kg/10a)	1,258(109)	1,156(100)	1,254(108)	1,348(117)	1,125(89)	1,269(100)
修正糖量(kg/10a)	1,133(112)	1,010(100)	1,111(110)	1,199(119)	1,044(89)	1,173(100)
アミノ態窒素(meq/100g)	1.60( 79)	2.02(100)	1.80( 89)	1.94( 96)	1.15( 84)	1.37(100)
カリウム(meq/100g)	3.27( 74)	4.40(100)	4.20( 95)	3.81( 87)	2.19( 90)	2.43(100)
ナトリウム(meq/100g)	0.39( 67)	0.58(100)	0.43( 74)	0.38( 66)	0.48(126)	0.38(100)
不純物価(%)	3.35( 74)	4.51(100)	3.99( 88)	3.90( 86)	2.27( 90)	2.52(100)
抽苔耐性	やや強	強	強	強		
そう根病抵抗性	強	やや弱	—	強		
褐斑病抵抗性	強	やや弱(やや強)	弱	やや強		
根腐病抵抗性	強	やや弱(弱)	弱	やや弱		
黒根病抵抗性	やや強	中	中	中		

注1) 形態的特性は北見農試の成績。健全圃場は十勝農試、北見農試、北農研センター、てん菜協会(3カ所)の計6カ所で、延べ18カ所平均で、( )は「モノホマレ」に対する比。

2) 修正糖量、アミノ態窒素、カリウム、ナトリウム、不純物価は平成19、20年の十勝農試を除く。

3) そう根病発病圃場は北見農試そう根病抵抗性検定圃場の2カ年平均(そう根病発病程度は、平成20年:中、平成21年:少)で、( )は「リッカ」に対する比。

4) 特性検定は担当農試の成績で、褐斑病抵抗性、根腐病抵抗性における「モノホマレ」の( )内は品種登録時の評価。「クローナ」はそう根病抵抗性を持たないため、特性検定試験には供試していない。

